

戦国の息吹を感じて歩く

# 船着山・常寒山いっっちゃえ縦走コース

長篠・設楽原の戦いの舞台となった山々を巡る縦走ルート。  
JR飯田線からのアクセスが便利なルートもおすすめ。



## 日吉地内から望む船着山



戦国時代「長篠の戦い」の舞台になった設楽原の東にある、形のよい端正な山容の山。独立峰のように見えるが、東方へ標高350m前後の尾根が続く。  
山頂には三等三角点とベンチャ山名の由来看板がある。山頂からは樹林に囲まれて展望は利かないが、途中での展望はできる。

## ビューポイント (蔵王山・吉祥山を望む)



船着山、山頂直下からの眺めです。右に吉祥山、遠く渥美半島・蔵王山や三河湾。南東には、遠州灘を望むことができます。

## 常寒山山頂からの眺望 (浅間山を望む)



新城市の北東に位置し、東西に尾根を長く延ばし、南西に大峯山、西に延びる尾根は舟着山へと続いている。俗名「高塚山」、「寒猿山」。  
頂上にはひな壇の上に小さな祠が3つ並んでおり、「御嵩神社」「浅間神社」「金毘羅神」の各神様が祀られている。  
山頂は広いが植林で日が当たらず暗く、唯一南から東方面の景色を見ることができ、樹間から浜松市との境界の山・浅間山方面が見える。稜線のルートはここから西に延び、松山越えを経て舟着山へと続いている。

## 吉川公民館から望む船着山



長篠合戦で多く武士が歩いた松山峠を踏む常寒山からの縦走路の尾根に位置する船着山。

### コース概要

- 所要時間 / コースA 東竹ノ輪バス停～吉川公民館 **4時間**
- 距離[水平] / **7km**
- 標高[常寒山山頂] / **482m**  
[船着山山頂] / **427m**
- レベル / ★★★★★  
**家族・一般向け**

※初中級者向け。距離・標高差も適度にあり、少し歩き慣れた家族や一般に最適。

👁️ ビューポイント ⚠️ 注意場所

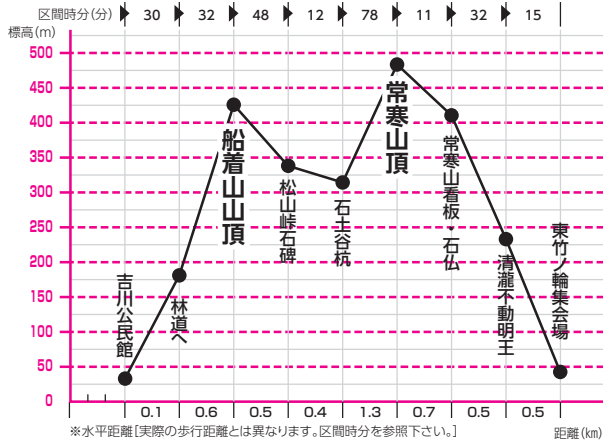
0 250 500m  
※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平27情機第962号)

# 船着山・常寒山いっっちゃえ縦走コース

## INFORMATION コース情報

※コースタイムは休憩時間を含んでいません。  
 歩くスピードは個人差があり、天候にも左右されます。あくまで目安として参考にしてください。

### コースA 吉川公民館～東竹ノ輪バス停



**登山適期** 通年

**コースの特徴**

船着山、常寒山は新城市の南部にある標高約450m程の山です。山頂は縦走ルートでつながっていると共に、吉川、竹ノ輪、塩沢、大平の4地区に登山口がありアクセスしやすい山です。比較的歩きやすいコースなので、年齢を問わず広い世代で楽しむことができます。

**見どころ**

山の大半は人工林に覆われていますが、登る尾根の北東斜面は雑木林なので、新緑や紅葉の季節は自然の色彩の宴を楽しむことができます。

**携帯電話状況**

おおむね良好です。

## ACCESS 交通アクセス

**マイカー**

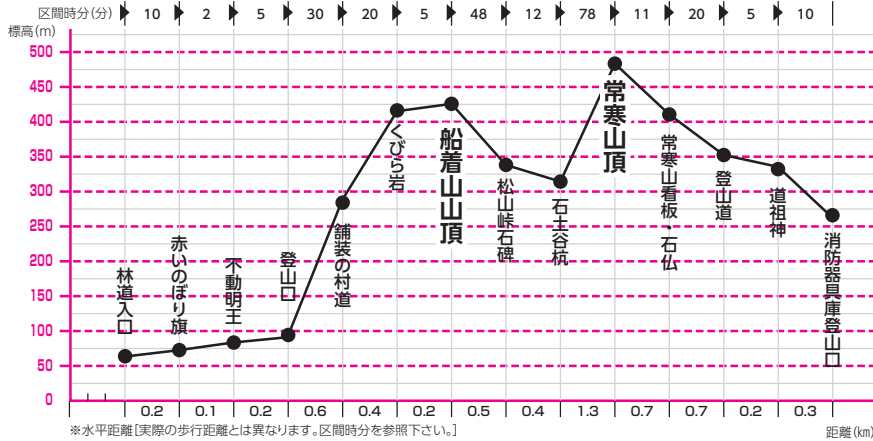
**吉川登山口** 新城ICから国道151号→県道439号→県道392号→吉川公民館(約15分)  
**竹ノ輪登山口** 新城ICから国道151号→国道257号→県道81号→日吉神社横(約30分)

**公共交通機関**

**塩沢登山口** JR飯田線三河東郷駅下車→早滝橋→新城クリーンセンター(約20分)  
**大平登山口** JR飯田線長篠城駅下車→文化橋→大平地区(約30分)

※マイカーを利用した団体登山の際は、事前に観光課までご連絡ください。

### コースB クリーンセンター～大平消防詰所



### 常寒山・舟着山周辺の立ち寄りスポット

●**長篠城跡(長篠城史跡保存館)**

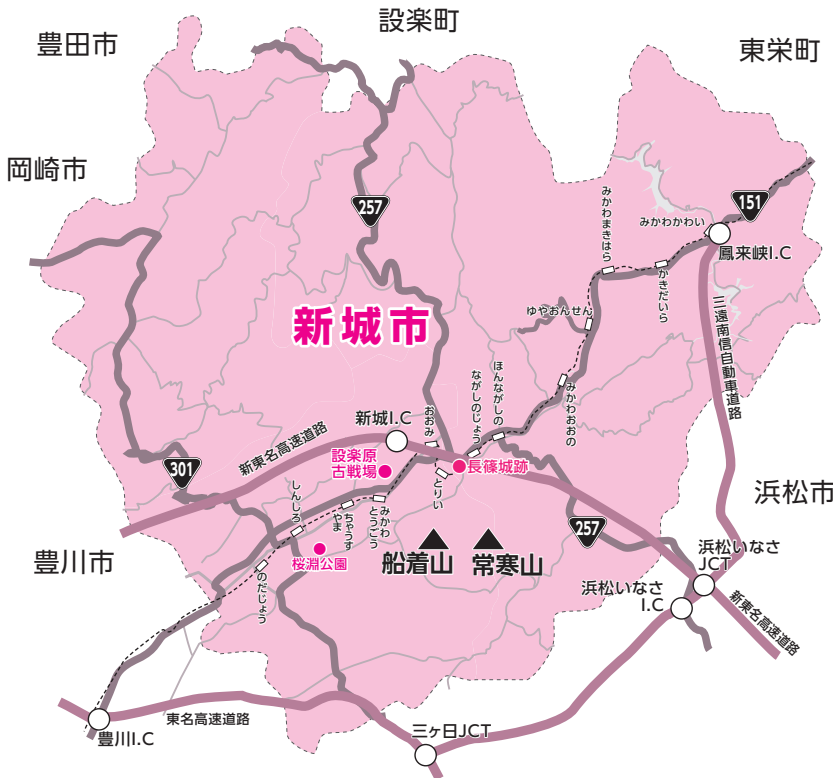
長篠・設楽原の戦いの舞台として知られている長篠城は豊川と宇連川の合流点に位置し、北側には堀と土塁を築いた堅固な城でした。現在も堀や土塁が当時のまま残されており、日本百名城として多くのファンが全国から訪れています。また、城内にある長篠城史跡保存館ではこの戦の遺品、文献などが数多く保存されており、その中から常時200点が展示されています。

●**設楽原古戦場(設楽原歴史資料館)**

設楽原古戦場は長篠・設楽原の戦いで武田勝頼率いる武田騎馬隊と3千丁ともいわれる鉄砲隊を主力とした織田・徳川連合軍が戦った決戦の地として知られています。連合軍が騎馬隊の攻撃を防ぐために築いた馬防柵が決戦場に再現されています。また、決戦場を望む丘の上には設楽原歴史資料館があり、長篠・設楽原の戦いについて詳しく知ることができるほか、数多くの火縄銃が展示されており鉄砲の伝来からその後の火縄銃の歴史が紹介されています。

●**桜淵公園**

桜と淵を持つ景勝地で江戸時代初期に新城城主が豊川沿いに桜を植えさせたのが始まりと言われています。春の桜、夏の緑、秋の紅葉は素晴らしい年間を通じて楽しむことができる自然豊かな公園です。



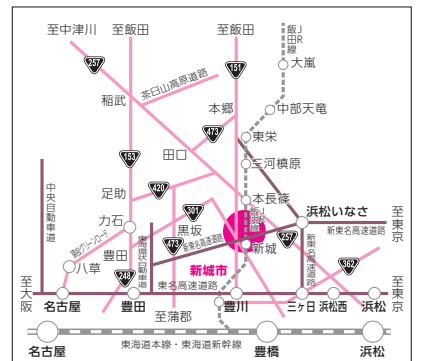
### いわれ・見どころ 松山峠

船着山と常寒山の間に松山峠があります。天正三年の長篠・設楽原の戦いの際、徳川家康の家臣、酒井忠次が三千の兵を率いて武田軍の長篠城包囲網の拠点であった鷹ヶ巣山の豊を奇襲しました。この時、酒井忠次が地元吉川に住民の豊田藤助の先導で通ったのがこの松山峠です。奇襲の成功により武田軍による長篠城包囲網が解かれ、戦は設楽原の決戦へと移っていききました。「吉川より 豊田藤助 先に立ち」(設楽原古戦場いろはかるたより)

### 乗本万灯

乗本万灯は毎年八月十五日に長篠城址が一望できる鷹ヶ巣山で行われます。精霊送りと思霊鎮送の意味が込められており、竹広地区の「火おんどり」と並び火を使った盆行事として知られています。さらしを巻き足にはわらじをはいた勇壮な若者が、長さ約五メートルの縄の先に付けられた万灯に火をつけ、力強く頭上で振り回します。

※コースの一部を除きほとんどが登山道となっています。ご利用の際は、事前にコース状況をお問い合わせいただくとともに、ご自身の体調や体力に充分配慮し安全で楽しい登山をお楽しみください。又、火災予防にもご協力ください。



**その他お問合せ**

- 新城市観光協会 TEL. 0536-29-0829 ●豊鉄タクシー[新城営業所] TEL. 0536-23-5811
- JR東海テレフォンセンター TEL. 050-3772-3910 ●豊鉄バス[新城営業所] TEL. 0536-24-1141

●コースのお問合せ **新城市観光課 Tel.0536-23-7613**